

ハピネス・アンド・ディ「ハピネス」、店舗DXで接客力向上 アプリ経由で購買履歴確認



クマのマスコミが自印のチェックインポイント（ハピネス）

今回の取り組みは、消費者向けに提供するビーコンをタビレットのアプリを、自社アプリリリースと同時に開発のやり、店内

今回の取り組みは、消費者向けに提供するビーコンをタビレットのアプリを、自社アプリリリースと同時に開発のやり、店内

全店にビーコン、タブレット

ブランドショップ「ハピネス」を運営するハピネス・アンド・ディ（東京、田澤社長）は、11月1日から店舗DX（デジタルトランスフォーメーション）の一環として、00船ある全店でビーコンとタブレットを連携したシステムを導入し、接客に役立てる。アプリ会員は来店をビーコンが検知、タブレット内に集約した購買履歴などから成る接客カードと連動させている。今後、ワン・トゥー・ワンの販促にも発展させる狙いだ。（中村雄）

今回の取り組みは、消費者向けに提供するビーコンをタビレットのアプリを、自社アプリリリースと同時に開発のやり、店内

今回の取り組みは、消費者向けに提供するビーコンをタビレットのアプリを、自社アプリリリースと同時に開発のやり、店内

今回の取り組みは、消費者向けに提供するビーコンをタビレットのアプリを、自社アプリリリースと同時に開発のやり、店内

今回の取り組みは、消費者向けに提供するビーコンをタビレットのアプリを、自社アプリリリースと同時に開発のやり、店内

今回の取り組みは、消費者向けに提供するビーコンをタビレットのアプリを、自社アプリリリースと同時に開発のやり、店内

今回の取り組みは、消費者向けに提供するビーコンをタビレットのアプリを、自社アプリリリースと同時に開発のやり、店内

今回の取り組みは、消費者向けに提供するビーコンをタビレットのアプリを、自社アプリリリースと同時に開発のやり、店内

今回の取り組みは、消費者向けに提供するビーコンをタビレットのアプリを、自社アプリリリースと同時に開発のやり、店内

今回の取り組みは、消費者向けに提供するビーコンをタビレットのアプリを、自社アプリリリースと同時に開発のやり、店内